



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

### 花王株式会社

#### －「クイックルワイパー」開発活動－

5

2006年8月、花王株式会社生活者研究センター主任研究員の立花久美子と同ハウスホールド研究所主任研究員の吉澤秀則は、ケースライターのインタビューを受けながら、「クイックルワイパー」の開発に没頭した数年間を振り返っていた。

10

「クイックルワイパー」は1994年に全国発売されてから、6年後の2000年には累計2000万本の販売を達成し、その時点での世帯普及率が45%にまで達した大ヒット商品である。しかし、この商品の開発から発売決定に至るプロセスは決して平坦なものではなかった。立花と吉澤は、「この商品は発売されるのかどうか、本当に最後まで分からなかった商品でした。でも、これを出さないわけにはいかないと、その当時は強く思っていました」とケースライターに向かって口を揃えて言った。

15

#### 掃除用具カテゴリへの着手

花王のハウスホールド事業本部は、1990年当時も同社の主力事業本部であった。同事業本部の主力製品はファブリックケア製品とホームケア製品で、前者としては「アタック」に代表される衣料用洗剤や「ハミング」などの衣料用柔軟剤が、後者には「ファミリー」「マジックリン」「マ

20

---

本ケースは、クラス討議の資料とするために、慶應義塾大学大学院経営管理研究科 高木晴夫教授の指導のもと、竹内伸一（株式会社ケースメソッド教育研究所）によって作成された。経営管理の巧拙を記述したものではない。本ケースは、花王株式会社人材開発部門の全面的な協力を得て作成された。組織名称は当時のものを使用しており、記述内容の一部は偽装されている。人材開発グループ駒沢紀明氏、ならびにインタビューに協力いただいた方々への謝意を記す。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

Copyright©2007 竹内伸一、高木晴夫、花王株式会社（2007年7月作成）